インタビュー

まちすき♡

しでんの学校　代表

大西　智樹さん

【プロフィール】
藤沢市生まれの横浜育ち。東京の学生による「とでんちゃん」（東京都電のアーカイブス）に触発され、2013年8月に横浜市電の写真や資料を集める「しでんちゃんプロジェクト」を発足し今の活動に至る。現在は建設コンサルタントの会社で働きながら、休日は友達と共同購入したというバスで旅を楽しむ根っからの乗り物好きな29歳。

友達と共同購入した愛車のバス

今後の活動予定などはHPで。

ーしでんの学校について教えてください

50年前まで走っていた路面電車「横浜市電」の記録を集め、写真展などを通して伝承し、集まった資料をデジタル化して保存する活動をしています。メンバーは市電が走っていたことを知っている60代の方が中心で私が一番若いです。月1回なか区民活動センターで活動しています。

ーどうして「市電」なのですか?

子どもの頃、横浜市電保存館（以下、市電保存館）によく遊びに行っていたのでなじみ深かったことと身近にある電車が好きだったことが影響していると思います。電車好きには、例えば新幹線が好きなど好みがあると思うのですが、私の場合は市営地下鉄のように日常の生活に根差した電車が好きで、まさに市電は町の風景にとけこむ存在で魅力を感じます。

ー市電保存館のリニューアルに貢献

活動を始めてから市電保存館で写真展をさせてもらったことがあります。その後、市電保存館のリニューアルの話があり、歴史展示コーナーについて相談を受けました。小さい頃から大好きだった市電保存館に大人になっても関わりが持てるというのはとても嬉しいことです。

ー年の離れた人たちとの活動はどうですか?

高校生の時に横浜のまちづくり系のNPOに参加する機会があり、そこの人たちが私を子ども扱いすることなく対等に扱ってくれた経験が大きいです。しでんの学校のメンバーも、活動を通して関わる鉄道会社の方なども、年齢立場関係なくフラットに関わることができ、良い関係の中で活動させてもらっています。

ー推しの乗り物「箱根登山鉄道」

開業当時から改造を重ねて100年以上走っている車両があるんです。交通バリアフリー法の事情などで電車が新型に変わってきていますが、未だに冷房もないこの古い車両が好きです。箱根登山鉄道はスイッチバックをしながら山を登るのですが、これが面白くてよく箱根に行ってました。

ー親子にメッセージをお願いします

子どもの頃に体験したことを今も覚えていたり、それがきっかけとなったな、と思うことがたくさんあります。私の場合、小さい頃電車やバスでいろいろなところに連れて行ってもらった経験が今の自分に大きく影響しています。電車に乗ることでマナーを覚えたり社会性を身に着けることができたかも。子連れの電車での移動は大変だと思いますが、車と違って電車なら一緒に手をつないで話をしながら乗ることができる、そんなところも電車の魅力だと思います。電車に限らず、興味を持ったことに子どもがどんどん触れられる機会があるといいなと思います。

季節と暮らそう

夏のお届け便

「横浜市こども植物園」より、季節の植物を紹介します。

最も栽培の歴史が古い果樹

ブドウ

ブドウの花は5月に咲き、8月中下旬～10月いっぱいまでが収穫期となります（品種によって異なる）。6月に行う、摘果という果粒を適度に間引く作業がとても大切で、一つ一つの粒が大きい果実を成らせる秘訣です。世界中には1万もの品種が存在するといわれ、果皮の色には大きく分けて黄緑色、赤色、黒色があります。これは、果皮に蓄積される抗酸化作用のあるアントシアニンという色素によるもので、多く持つ品種ほど黒色に近くなります。果肉の味は、色素の薄い白ブドウは適度な酸味があり、逆に赤ブドウは甘味が強い傾向にあるようです。ところで、ぶら下がったブドウ一房のなかで上半分と下半分ではどちらが甘いかご存じですか?答えは上半分、特に上の部分の甘味が強いので試してみてください。

（緑の相談員・速水善浩）

【問い合わせ】　**横浜市こども植物園**　入園無料
南区六ッ川3-122　☎045-741-1015　開園時間9:00～16:30

＊園内で開催している子ども向けイベントをベイ★キッズLINEでお知らせ。LINE登録は4面を見てね。

身近でできるSDGs

このコーナーではSDGsの17の目標に向けて身近にできることを紹介していきます。
今回は横浜市でガラスのリサイクルをしている企業の取り組みを紹介します。

hands to hands サイダー

中身もびんも地産地消のサイダー

ガラスびんのリサイクル事業を始めて90年以上の歴史がある**マルニ商店**は、リサイクル事業を通じてさまざまな社会貢献に取り組んでいます。その取り組みの1つが横浜市内でオリジナルサイダーを作っている**坪井食品株式会社**とのコラボレーションで生まれた「hands to handsサイダー」。横浜市内の小学校の児童がラベルをデザインし、売上の一部で環境教育教材をプレゼントしています。

子どもたちに環境への興味を持ってもらいたいという思いから、小学生を対象にリサイクルについての出前授業をしています。

レモネードを飲んで小児がんの子どもたちを応援しよう!

2020年から**一般社団法人みんなのレモネードの会***の活動を知ってもらいたいと、「hands to handsレモネードサイダー」の販売を開始しました。

＊小児がん当事者や家族が集まり小児がんについて啓蒙活動や支援を行っている団体

【取扱店】
◇ローソンスリーエフ済生会横浜市東部病院店（鶴見区）
◇ローソン昭和大横浜北部病院店（都筑区）
◇ローソン横浜永田北一丁目店（南区）
◇お酒の横濱屋蒔田店（南区）
◇カフェピッコロ（中区）
※2022年6月現在

オンラインショップもあります。

大1、中3、小6の子どもがいます。病気の子どもを応援したり、学校と協力したり、地域のまちづくりに繋がるような事業は、自分自身の子育てがきっかけになっています。

有限会社マルニ商店
代表取締役社長
栗原清剛さん

パパと遊ぼう!

よこはまこどもカレッジの「名物せんせい」

体操・鉄ぼうコーチ編

子ども達に様々な体験を提供している「よこはまこどもカレッジ」。
子どもたちを指導してくれている個性豊かな先生を紹介します。

横浜のパパが発信!
パパが子育てを楽しむためのコーナーです。

asobii yokohama

TVにも出演　逆上がりのプロ

寺崎一宏 先生

体操指導歴35年。オリンピック体操選手のコンディショニングコーチなどを務めた経験もある。現在は、横浜市都筑区で子ども向けの体操教室「スーパーアスリートクラブ」を運営する傍ら、幼稚園での体育指導や日本大学自転車部のトレーニングコーチなども行う。TVの人気番組で俳優の神木隆之介さんに逆上がりを指導したことも。

Q.子ども達に逆上がりを通して教えたいことは何ですか?

他人との比較ではなく、自分との比較をすることです。逆上がりは、過去の自分より1㎝でも上がっていたら成功です。それを続けていけば、必ずできるようになります。そして、「ダメだ」「できない」といったマイナスの言葉ではなく、「できるできる」「やるぞー」といったプラスの言葉を自分に言うことです。プラスの言葉をかけることで身体が動くようになります。これはオリンピック選手も行っていることです。

Q.お父さん、お母さんに伝えたいことは何ですか?

自分もオリンピックを目指す高校生の子どもがいる父親です。お子さんには、ぜひ「できる」「いいぞ」と前向きな言葉をかけてあげてください。そして、できたときはもちろん、できなくても挑戦したこと自体を褒めてあげてください。子どもたちは一歩ずつ自分の力で「体験」を通じて伸びていきます。見守ってあげることでやる気を生み、褒めることで自信をつけ生きる力につながっていきます。

Q.読者の方へメッセージを

「よこはまこどもカレッジ」では、一番人気の「逆上がり教室」や「跳び箱教室」「側転・逆立ち教室」などを担当しています。どちらも今は苦手でうまくできないというお子さん向けの教室、5歳のお子さんからご参加いただけます!

公式HP